

平成 31 年度 事業計画書

～地域で支え合いみんなが安心して
心豊かに暮らせるまちづくりを目指して～



みんなの食堂(松之山)



中学生福祉サマ-ワークキャンプ(ホランティアセンター)



生きがい活動通所支援事業(松代支所)



災害ボランティア支援(西日本豪雨災害)



社会福祉法人 十日町市社会福祉協議会

目 次

1 基本方針	2
2 重点	2
3 部門別の取り組み	3
(1) 福祉部門	
(2) 介護部門	
(3) 総務部門	
4 社会福祉事業	5
(1) 法人運営事業拠点区分	
(2) 地域福祉事業拠点区分	
①地域福祉事業サービス区分	
②共同募金配分金事業サービス区分	
(3) 社福介護保険事業拠点区分	
(4) 障害者居宅介護事業拠点区分	
(5) 社福受託事業拠点区分	
5 公益事業	10
(1) 公益受託事業拠点区分	
①施設管理運営事業サービス区分	
②生きがい活動支援通所事業サービス区分	
③介護予防事業サービス区分	
④要援護者等支援事業サービス区分	
(2) 地域包括支援センター(受託)事業拠点区分	
(3) 公益介護保険事業拠点区分	
6 外郭団体支援	14

平成31年度 社会福祉法人十日町市社会福祉協議会事業計画

～地域で支え合いみんなが安心して心豊かに暮らせるまちづくりを目指して～

1 基本方針

十日町市社会福祉協議会は、市民一人ひとりが、自ら暮らす地域に積極的にかかわり、年齢、性別、障がいの有無、社会的経済的な地位などにかかわらず、お互いが尊重しあい、生きがいと充実感を感じながら生活できるまちを目指します。そのため十日町市地域福祉活動計画の基本理念「地域で支え合いみんなが安心して心豊かに暮らせるまちづくりを目指して」をスローガンに、基本目標である「心をつなぐ地域づくり」「楽しく暮らせる地域づくり」「安心して暮らせる地域づくり」を推進します。

2 重点

「あらゆる生活課題への対応」と「地域のつながりの再構築」

地域住民から寄せられる多様な生活課題を受け止め、地域を基盤とした解決につながる支援やその仕組みづくりを行い、法人の取り組みに反映させるように事業の見直しをしていきます。

また、小地域における住民主体の福祉活動を一層強化するとともに、ボランティア・NPO団体・社会福祉法人等、地域で活躍する各種団体との協働の取組みを広げ、地域のつながりの再構築を図り、誰をも排除しない地域社会づくりを推進します。

取り組み	内 容
地域に出向く活動の徹底	①地区社会福祉会や地区振興会等小地域を単位にしたネットワークの構築を推進します。 ②地域福祉コーディネーターの育成に努め、各種研修会に参加します。 ③地域ニーズに対応する新たな在宅福祉サービスを地域住民と共に検討します。
相談・支援体制の強化	(1)総合相談体制の構築 ①相談窓口の総合化と職員のチーム対応力の向上を図ります。 ②部門横断の相談支援体制づくりに努めます。 (2)生活支援体制づくり ①多様な生活課題に対する生活支援サービスや福祉活動の開発に取り組み、実施に繋がります。 ②在宅福祉サービス事業における多様な生活課題への対応に努めます。 ③既存制度では対応が難しい課題解決に向け、組織的な対応を図ります。
地域づくりのための活動 基盤整備	①住民主体による福祉コミュニティづくりと住民活動の充実を推進します。 ②研修会や講演会をとおして、地域づくりに向けた人材確保と育成に取り組みます。 ③住民参加の促進と連携・協働の体制づくりに取り組みます。
経営基盤の強化	地域住民の声に応え、事業を推進していくためには安定した経営が欠かせません。前年度に職員で編成した経営強化プロジェクトチーム等での検討を継続し、自主財源の確保や事業の適正な見直しを含めた経費の効率化、削減について検討します。

3 部門別の取り組み

(1) 福祉部門「地域住民との協働と支え合いの体制づくり」

地域住民との協働の取り組みとして「地域の支えあいマップづくり」や「福祉有償運送事業」の開始に向けて準備を進め、人と人とのつながりを大切にしたい「我が事まるごと」の活動に取り組みます。

また、高齢者・障がい者をはじめとした相談支援の充実を図り「権利擁護」の活動にも力を入れていきます。

目標(所属)	内 容
支え合いの仕組みづくり 「支え合いマップの作成」 (地域福祉課)	地域全体で支え合いの仕組みづくりを検討する「支え合いマップ作り」を全地域に広めていくために、講師を招いて関係者(民生委員・児童委員、福祉協力員、関係機関)に向けたセミナーを開催します。セミナー開催後は、本所・支所で数地区を選定し行政担当課(福祉課、医療介護課、防災安全課)と一緒に地域に提案し、マップ作りを始めます。
福祉有償運送事業の実施 (地域福祉課)	高齢化や過疎化に加え公共交通機関の衰退から、日常生活や外出が困難な要援護者が増加していることから「移動問題」の解決を目指して福祉有償運送の講習会を開催し、事業実施に向けて関係団体に働きかけをします。
法人後見事業の推進 (地域福祉課)	平成 29 年度の法人後見事業の開始から3件のケースに対応しています。他にも市内の障がい・高齢者支援、各部門からの問い合わせを受けましたが、事業全般の流れ(相談、依頼、対応等)や制度への理解不足もあり、主担当に頼らざるを得ない場面が多かったことから、複数の職員で関わることでレベルアップを図り、事業の推進を図ります。
ひきこもり支援の充実 (川西支所)	地域福祉課生活支援係が千手中央コミュニティセンターで実施しているひきこもり等の居場所「ふらっと」を H31 から川西支所が担当します。川西支所が担当することにより、スムーズに本人の希望に合わせたボランティア活動へつながることができることと、当会が指定管理を受けているはあとふる川西で行うことで、月 2 回の実施日以外にも当事者が気軽に来所できる環境を作ります。
高齢者等の見守り体制の整備 (中里支所)	民生委員・児童委員、地域包括支援センターと連携会議を行い、地域の実情や見守りが必要な世帯を把握して、見守り体制の構築に向けた検討を行います。
高齢者の見守り、安否確認の体制づくり (松代支所)	高齢化率増加と認知症による要介護認定者の増加を受け開始した「高齢者みまもり隊事業」を基盤とした更なる支援体制の確立のために、西地域包括支援センターをはじめ民生委員・児童委員や居宅介護支援事業者等と連携し、対象者の把握や状況確認を進めながら事業実施要綱を作成し、本人や家族の理解を得ながら関係機関と連携して事業に取り組みます。
「松之山みんなの食堂」の開催 (松之山支所)	人口減少、担い手不足問題の声が多く聞かれたことを受け、新規ボランティアの発掘や学生を対象とした福祉教育にも繋がり、様々な面で地域福祉活動の推進を行うことができる、「松之山みんなの食堂」を定期開催できるようにし、新たな多世代の地域交流拠点を作ります。

(2) 介護部門「事業所一体となったサービスの向上と見守り体制の構築」

介護事業の人材に限られる中、法人一体となってサービスの向上と地域課題解決に向け関連機関との連携とアプローチに努めます。

また、高齢者の見守り対策については、既存の取り組みを拡充するとともに、地域福祉部門と連携した新たな地域での支え合いに取り組みます。

目標(所属)	内 容
事業所間の連携による地域課題の解決 (十日町居宅介護支援事業所)	①包括と他事業所とで行う事例検討会に参加し、課題の発見、解決策の検討に取り組み、評価を行いながら継続的な支援に取り組みます。 ②個別のケースであっても地域課題と捉え、地域福祉課や包括と連携を図り、課題の解決に努めます。 ③家族や近隣住民の理解を得ながら、県外、市外に転出せずに済むよう可能な限り在宅生活支援を行います。
個々の生活課題の明確化と生活課題への対応 ～困りごとや緊急時にも早期対応できる体制づくり～ (十日町訪問介護事業所)	①関わっている職員間で定期的なモニタリングを確実にしています。 ②利用者から得た情報をサービス提供責任者へ伝え、連絡票を活用することで情報共有を行い、ケース会議の中でサービスの内容や対応方法の見直しを行います。 ③利用者に対して 2 人以上で係ることで、責任者が不在でも対応できる体制をつくり、常勤会議を月 2 回実施し情報共有を図ります。
両訪問入浴介護事業所の連携による効率的で適切な訪問入浴サービスの提供 (十日町訪問入浴介護事業所) (松之山訪問入浴介護事業所)	地域の需要を勘案しながらサービス提供地域の分担、拡大に向けて両事業所間での連携を図ります。 地域の需要を勘案しながらサービス提供地域の分担、拡大に向けて連携が必要と考えたため、両事業所間で意見交換を行います。 ①訪問入浴の手法の確認や双方の現状を理解し合います。 ②双方のサービス提供が可能な地域の確認と分担を行います。 ③効率の良いサービス提供に繋げ、サービス提供の広域化を目指します。
見守り体制の整備 (十日町西地域包括支援センター)	①松代地域で始まった「高齢者みまもり隊」事業の充実を図ることに加え、松之山地域においても対象者の情報を把握し、事業拡大に向けて関係者と検討していきます。 ②「認知症サポーター養成講座」を、小・中学生の若い世代向けに開催し、認知症の方を見守る眼を育みます。
地域の見守り体制づくり (松之山居宅介護支援事業所)	前年度目標としていた、徘徊者対応マニュアルの整備ができ、1件ケースを作成したところ、徘徊者の発見という実例として効果を上げることができました。今年度は「徘徊者対応マニュアル」をステップアップさせ、一人暮らし高齢者世帯を地域で見守ることができる仕組みづくりへ発展させ、繋がりを大切にしている地域の見守り体制を構築していきます。
情報共有できる仕組みづくり (松之山訪問介護事業所)	前年度は「統一されたサービスの提供」を目標に取り組み、各訪問介護員から意見や情報を受け、サービスの均等化が図れてきましたが、日々変化する情報の共有化が上手くいきませんでした。このことを踏まえ、今年度は介護支援専門員、訪問介護員全員との間で情報の記録、伝達方法を見直し、確実に情報を共有できる仕組み作りを構築していきます。

(3) 総務部門「適切な組織経営と財務管理」

適正な組織経営や財務管理に努めます。また、現状の業務を見直すことで、職員の資質向上や業務の効率化を目指します。

目標(所属)	内 容
業務マニュアルの作成 (総務課)	業務の効率化、業務時間の短縮化、また、業務内容の「見える化」を図るため、業務マニュアルの作成を行います。 ①統一したマニュアルの様式を作成します。 ②社会保険、労働保険、年末調整等の業務のマニュアルを作成します。 ③組織として取り組めないか、働きかけをします。
	経理面で月毎に取り組む業務内容を明確にし、業務を進めるうえでの注意事項を項目ごとに書き出し、マニュアルの作成を行います。また、作成したマニュアルには、毎月の巡回指導の内容も加え改善していけるようにします。

4 社会福祉事業

(1) 法人運営事業拠点区分

No.	事業名	内 容
1	組織体制に関する こと	適正な法人経営や、地域の声を反映するために理事会、評議員会及び監査会を開催します。また、ホームページを活用して、幅広い情報の提供を行います。
2	職員に関する こと	職員の人事や福利厚生に関わる業務を行うとともに、「働き方改革」に沿って健康増進や働きやすい環境づくりを行います。また、研修による職員の資質向上に向けた取り組みを行います。
3	財源に関する こと	会費は貴重な財源となっているため、地域住民や事業所等からご理解をいただけるように丁寧な説明を心がけます。特に、特別会員や広告料を増額させるため、個別の訪問を強化します。また、無駄な経費執行がないか職員間で意識を共有し、経費削減に努めます。
4	会計・経理に関する こと	経理規程に従い、日々の会計処理を適正に行います。会計事務所からの毎月の巡回指導を受けて事業と資金の状況を把握し、指導内容を職員全体で見直すことで会計事務に対する理解を深めます。
法人運営事業拠点区分合計		予算 (前年度予算) 125,589千円 (139,414千円)

(2) 地域福祉事業拠点区分

①地域福祉事業サービス区分

No.	事業名	内 容	予算 (前年度予算)
5	福祉団体助成事業	助成金を交付し地域福祉活動の推進を図ります。(①児童遊園地整備、②ゲートボール場整備、③身体障がい者団体、④精神障がい者家族会、⑤手をつなぐ育成会、⑥明窓会)	1,374千円 (2,282千円)
6	[中里支所] 高齢者等給食サービス事業	単身高齢者、高齢者世帯、高齢者と子ども世帯など支援が必要な世帯への食の提供と安否確認 【毎週火曜日、年間50回】(利用者28、調理ボランティア85、配達ボランティア20)	660千円 (660千円)
7	地域福祉活動計画 進捗管理	計画の進捗状況を年度ごとに確認し、各種事業の取組内容を検証します。 【4月初旬】 担当者ごとに事業報告作成に併せて事業検証を行う。 【5月】 支所長会議で協議し、役員会へ進捗状況を報告する。	0円 (210千円)
8	介護職員初任者研修	【9月～12月】地域福祉・在宅福祉を担うマンパワーの人材育成・基盤強化を図ることを目的とします。(定員24人)	520千円 (51千円)
9	24時間テレビチャリティ募金協力	【8月下旬】24時間テレビ募金活動への協力とボランティア活動の啓発を行います。	32千円 (50千円)
10	生活福祉資金貸付事業	新潟県社会福祉協議会が、低所得者、高齢者、障がい者に対して経済的自立と生活意欲の助長を図るために資金貸付を行うための受付相談窓口となります。	1,417千円 (1,487千円)
11	法外援護金貸与事業	不測の事態による緊急援護を必要とする人に援護金を貸付し、自立を図ります。	60千円 (511千円)
12	[本所] 福祉協力員設置事業	地域の生活課題や住民目線での福祉ニーズを把握するために、福祉協力員を設置します。	104千円 (208千円)
13	広報誌発行事業	市民に対して事業案内や活動報告を行い、社協活動の理解を深めていきます。 ・【年6回】「社協とおかまち」の全戸配布	1,621千円 (1,786千円)

14	新規 福祉有償運送事業	福祉有償運送の実施に向け、運転者講習会を開催します。	116千円 (-)
15	[松代支所] ボランティア活動振興事業	【年間】子ども見守り活動や、雪掘りボランティアの活動支援を行います。	36千円 (72千円)
16	[松代支所] 新規 見守り活動事業	高齢者の一人暮らし、認知症等により世帯人員だけでは生活に不安や支障がある方に対し、隣近所など身近な方が定期的に訪問、声かけを行い、地域・関係機関が連携した見守り体制を構築します。	53千円 (-)
17	新規 支え合いマップ作り事業	地域全体で検討していく支え合いマップ作りを全地域に広めていくために、「住民流福祉総合研究所 木原孝久氏」から関係者(民生委員・児童委員、福祉協力員、関係機関)に向けたセミナーを開催します。	225千円 (-)
地域福祉事業サービス区分合計			6,218千円 (14,639千円)

②共同募金配分金事業サービス区分

No.	事業名(主な財源)	内 容	予算 (前年度予算)
18	寝具洗濯・乾燥事業	【1人年1回】心身のリフレッシュを目的に、在宅寝たきり高齢者や重度障がい者の寝具洗濯と乾燥費用を助成します。(上限 4,000 円)	160千円 (160千円)
19	[本所] 地域福祉活動助成事業	【年1回】地域での支え合い、福祉ニーズの早期発見を目指して、地域福祉活動の拠点として活動を展開できるような助成、活動支援を行います。(5 福祉会 + 2 振興会)	2,144千円 (2,332千円)
20	ふれあいいきいきサロン助成事業	【年間】高齢者や障がい者、子ども等の閉じこもりや孤立感の解消を図る事を目的に各地域に設置され、住民が自主運営する「ふれあいいきいきサロン」に補助金を交付し、ボランティア保険加入の手続きを行います。	2,541千円 (2,469千円)
21	[本所] ボランティアセンター運営事業	【年間】市民のボランティア活動を後押しするための情報発信や団体同士の交流を図る機会の創出、活動紹介、ボランティアマンパワーの発掘・育成、ボランティア保険の受付などを行います。また、地域の防災・減災に努め、必要に応じて災害ボランティアセンターを確実かつ適切に設置するために設立した、越後妻有防災ネットワーク協議会との連携を図ります。 中学生福祉体験サマーキャンプ(年1回8月)、初心者向けボランティア入門講座の開催、除雪ボランティアコーディネート(冬季)を行います。	1,138千円 (1,411千円)
22	[本所] 高齢者等給食サービス事業	No.6と同じ 【第1・3週は調理ボランティアの弁当、年間23回】【第2.4.5週は業者の弁当、年間31回】(火曜日:新座・美座島・川治・下条、水曜日:中条・水沢、木曜日:十日町・吉田)	3,614千円 (1,711千円)

23	民生委員児童委員協議会助成事業	民生委員児童委員協議会の活動費の一部を助成します。	100千円 (100千円)
24	法人後見事業	【年間】認知症等により、正しい判断が十分にできない方に対して、身の回りに配慮しながら財産管理や介護サービス等の契約を行い、本人の権利を守りながら生活を支援・保護します。 また、制度普及のための研修会を実施します。	1,265千円 (1,226千円)
25	[川西支所] 新規見守り活動事業	No.16と同じ H31は選定したモデル集落とともに見守りマップを作成し、活動を実施します。	15千円 (-)
26	[川西支所] 高齢者等給食サービス事業	No.3と同じ 【月曜日・木曜日、年間96回】(利用者40、献立ボランティア2、調理ボランティア「山ゆりの会」72、配達ボランティア「福寿草」31)	2,069千円 (2,208千円)
27	[松代支所] ひとり暮らし高齢者訪問事業	【年1回12月】松代地域在住の75歳以上の単身高齢者を対象に慰問を兼ねて夕食弁当を配り、「孤独感の緩和」を図ると同時に「生活上の困りごと」などを把握し、社協事業企画の参考にします。(配食見込数150食)	155千円 (162千円)
28	[松之山支所] ボランティア活動振興事業	【年間】地域ボランティア研修会や、学生のボランティア体験、シニアボランティア活動の支援を行います。また、新規事業として「松之山みんなの食堂」を開催し、新たなボランティアの発掘や多世代の地域交流拠点づくりを行います。	455千円 (468千円)
共同募金配分金事業サービス区分合計			13,656千円 (8,168千円)
地域福祉事業拠点区分合計			19,874千円 (22,807千円)

(3) 社福介護保険事業拠点区分

No.	事業名(主な財源)	内 容	予算 (前年度予算)
29	十日町訪問介護事業	【年間】介護予防・日常生活支援総合事業および要介護認定を受けた高齢者等の自宅に訪問介護員が訪問して、身体介護サービスや生活援助サービスを行います。(介護保険法第8条第2項に規定する訪問介護事業及び第8条の2第16項に規定する特定介護予防・日常生活支援総合事業)	59,473千円 (57,803千円)
30	松之山訪問介護事業	No.29と同じ	17,190千円 (18,748千円)
社福介護保険事業拠点区分合計			76,663千円 (76,551千円)

(4) 障害者居宅介護事業拠点区分

No.	事業名(主な財源)	内 容	予算 (前年度予算)
31	十日町障害者居宅介護事業	【年間】障がい者の自宅に訪問介護員が訪問して、身体介護サービスや家事援助サービスの提供、入浴介護サービスの提供及び外出時の移動を支援します。 ・居宅介護(障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第 123 号に規定する障害福祉サービス) ・訪問入浴、移動支援(障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第 123 号に規定する地域生活支援事業で市からの受託事業)	14, 210千円 (16,084 千円)
32	松之山障害者居宅介護事業	No.31 と同じ ※H30.8 月より 1 名利用開始	37千円 (-)
33	十日町障害者同行援護事業	【年間】視覚障がい者の外出時において、同行援護従業者養成研修了者が同行し、移動に必要な情報提供や援助を行います。(障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第 123 号に規定する障害福祉サービス)	277千円 (231 千円)
障害者居宅介護事業拠点区分合計			14, 524千円 (16,315 千円)

(5) 社福受託事業拠点区分

No.	事業名(主な財源)	内 容	予算 (前年度予算)
34	[本所] 羽根川荘管理運営	高齢者同士の交流を通じて、生きがい活動及び健康づくりを推進し、介護を必要とする状態になることを予防します。 【火曜日～金曜日】 ・施設の利用受付、利用料徴収 ・市内巡回バス運行による利用者の送迎 ・センター利用者交流事業 ・けんこう体操教室(月 2 回) ・季節行事の計画と実施 ・地域団体等事業協力	10, 487千円 (10,554 千円)
35	日常生活自立支援事業	【年間】認知症や精神障がい等で判断能力に不安がある人への福祉サービスの利用手続きや利用料の支払い、日常的な金銭管理の補助等を行うことで安心して生活できるよう支援をします。	14, 860千円 (13,177 千円)
社福受託事業拠点区分合計			25, 347千円 (23,731 千円)

5 公益事業

(1) 公益受託事業拠点区分

①施設管理運営事業サービス区分

No.	事業名(主な財源)	内 容	予算 (前年度予算)
36	[川西支所] はあとふる川西管理運営	「はあとふる川西」が、住民の健康と福祉の増進を図れるように管理運営を行います。 【年間】施設の利用受付、利用料収受、施設設備の維持管理	2,847千円 (3,151千円)
37	[松代支所] 松代ゆうあいセンター管理運営	高齢者の介護予防の拠点施設として、利用者に対し、安全で快適な場を提供し、活発な交流や仲間づくりの活動が行われるように施設の適正な管理を行います。 【年間】施設の維持管理と利用の受付、利用料徴収	1,314千円 (1,416千円)
施設管理運営事業サービス区分合計			4,161千円 (4,567千円)

②生きがい活動支援通所事業サービス区分

No.	事業名(主な財源)	内 容	予算 (前年度予算)
38	[川西支所] 茶ぼっこ	【年間】概ね 65 歳以上の高齢者を対象に、茶話会、レクリエーション、体操、季節行事などを通じて、仲間づくりや健康維持など介護予防を行う場を提供します。(はあとふる川西)	4,053千円 (4,130千円)
39	[川西支所] あったかホーム	No.38 と同じ(橘高齢者コミュニティセンター)	1,733千円 (2,789千円)
40	[中里支所] 木の芽会	No.38 と同じ(中里保健センター)	2,068千円 (2,085千円)
41	[松代支所] 松代ゆうあいセンター	No.38 と同じ(松代ゆうあいセンター)	6,260千円 (6,196千円)
42	[松之山支所] ほのぼの教室	No.38 と同じ(松之山保健センター)	2,316千円 (2,446千円)
生きがい活動支援通所事業サービス区分合計			16,430千円 (17,646千円)

③介護予防事業サービス区分

No.	事業名(主な財源)	内 容	予算 (前年度予算)
43	介護予防ボランティア育成事業	【6月以降随時】高齢者の介護予防活動に興味があり今後地域で活動を希望する方、または現在活動をしておりその活動に活かしたい方を対象に、介護予防の知識と理解を深める講座を開催します。	1,762千円 (1,473千円)
44	生活支援体制整備事業	介護保険法に基づく、生活支援体制整備事業の第1層の生活支援コーディネーターを十日町市より受託します。各地域の生活課題や地域ごとの福祉ニーズを集約し、同時に設置される第一層の協議体と協議し、行政への提言を行います。また当会ができることや、地区福祉会等が新たに担える役割を検討し、多様なサービスが開発される環境づくりに取組みます。	5,882千円 (7,808千円)
45	生活支援サポーター養成事業	介護予防・日常生活支援総合事業で行う緩和型の訪問・通所サービスに従事するサポーターを養成する事業です。介護の担い手が不足していく中、高齢者が地域で暮らせるよう、生活支援の担い手を養成します。	1,052千円 (890千円)
46	訪問型サービスB事務事業	総合事業の「訪問型サービス B」の事務局を担い、事業のスムーズな進行を行います。	2,149千円 (1,987千円)
介護予防事業サービス区分合計			10,845千円 (12,158千円)

④要援護者等支援事業サービス区分

No.	事業名(主な財源)	内 容	予算 (前年度予算)
47	要援護者世帯除排雪援助事業	【冬期】高齢者、障がい者世帯等の除排雪が困難な世帯へ除排雪経費の助成(処理者への支払い)を行います。	1,733千円 (1,927千円)
48	高齢者安心サービス事業	【通年】在宅生活上での困りごとのある高齢者に対し、市内に住むボランティアによる軽易な作業が受けられることにより、高齢者が住み慣れた自宅・地域で安全・安心して生活ができることを目的とします。また、サービスを提供したボランティアにはポイントを付与することで地域社会の相互扶助を基調に、住民相互の助け合いが日常的に行われるようなまちづくりへの動機づけをします。	1,954千円 (2,129千円)

49	生活困窮者自立支援事業	<p>【年間】生活困窮者が抱える多様で複合的な問題に対して相談に応じ、必要な情報提供及び助言を行うとともに、生活困窮者に対する支援の種類及び内容等を記載した計画を作成し、生活困窮者の自立の促進を図ります。また、生活困窮者が自立するための社会資源の開発に努めます。</p> <p>その他関連する支援として、次のことに取り組みます。</p> <p>【随時】ひきこもりサポーター派遣 本人の家庭等を訪問し、本人及びその家族を支援するひきこもりサポーターを派遣します。</p> <p>【随時】食糧支援 不測の事態による緊急援護を必要とする人に食糧を支給し、自立を図ります。</p> <p>【月2回】ひきこもり等の居場所(川西支所) ひきこもり者等が、家から一步踏み出し、参加者同士で交流を図ることにより、社会参加へのきっかけにすることを目的に居場所を開設します。</p> <p>【月1回】ひきこもり家族交流会(中里支所) 同じ悩みを持つ家族が集い、体験を語り合い、情報交換等を行うことにより、気持ちを分かち合い、不安や悩みを軽減することを目的とします。</p>	14,149千円 (13,530千円)
50	[松代支所] 食の自立支援事業	<p>【毎週火曜日・金曜日】65歳以上で食事による栄養確保・安否確認が必要な住民に対し、昼食弁当を配達します。(利用登録25人、調理…地域内2業者、配達…地域内2団体「ひだまり」「しぶみの家」)</p>	1,392千円 (1,287千円)
51	[松之山支所] 食の自立支援事業	<p>【毎週火曜日・金曜日】No.50と同じ (利用登録19人、調理…地域内業者、配達…ボランティア)</p>	864千円 (864千円)
要援護者等支援事業サービス区分合計			20,092千円 (20,407千円)
公益受託事業拠点区分合計			51,528千円 (54,778千円)

(2) 地域包括支援センター(受託)事業拠点区分

No.	事業名(主な財源)	内 容	予算 (前年度予算)
52	地域包括支援センター運営事業	<p>【年間】松代・松之山地域の高齢者が住み慣れた地域で、その人らしい生活を継続することができるように心身の健康の維持、保健・福祉・医療の向上、安定した生活を送るために必要な援助・支援を包括的に行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合相談支援事業 ・虐待の防止や早期発見、権利擁護事業 ・地域社会資源を活用し支援体制を構築する包括的・継続的ケアマネジメント事業 ・地域ケア会議の開催 ・認知症サポーター養成講座の中学校生徒への開催 	20,401千円 (20,552千円)

53	出前講座事業	【年間】高齢者が集まる場に出向き、介護予防の必要性(運動・口腔・栄養・認知症予防)を促します。また、講師を派遣し、主体的に介護予防に取り組めるように支援を行います。(全 15 回)	336千円 (656千円)
54	介護予防支援事業	【年間】介護度「要支援1, 2」の方に、自立を促せるように利用者本人の心身の状況、本人や家族の意向を踏まえた介護予防プランを作成します。また、関係者と介護保険等サービスの利用に向けた連絡調整を行います。	2,780千円 (4,203千円)
55	介護予防日常生活支援事業	【年間】「介護度要支援1, 2の方」、及び「基本チェックリスト該当者」に、利用者本人の心身の状況、本人や家族の意向を踏まえた適切な介護予防ケアマネジメントを行い、総合事業等のサービスを利用していただき、自立を促します。	3,076千円 (1,052千円)
地域包括支援センター(受託)事業拠点区分合計			26,593千円 (26,463千円)

(3) 公益介護保険事業拠点区分

No.	事業名(主な財源)	内 容	予算 (前年度予算)
56	十日町訪問入浴介護事業	【年間】要介護認定を受けた高齢者等の自宅に浴槽を持ち込み、看護師 1 人と介護員 2 人で入浴介護サービスを行います。(介護保険法第 8 条第 3 項に規定する訪問入浴介護事業及び第 8 条の 2 第 16 項に規定する予防訪問入浴介護事業)	27,356千円 (38,883千円)
57	松之山訪問入浴介護事業	No.56 と同じ	5,968千円 (7,876千円)
58	十日町居宅介護支援事業	【年間】総合事業対象者・要支援者・要介護者が、地域で個々の能力に応じて自立した日常生活を送れるように、必要なサービスを利用するための介護サービスを計画し、利用者・家族を支援します。(介護保険法に規定する居宅サービス事業で、介護保険法第 79 条～第 85 条に定める指定居宅介護支援事業者)	18,414千円 (18,429千円)
59	松之山居宅介護支援事業	No.58 と同じ	29,254千円 (29,024千円)
公益介護保険事業拠点区分合計			80,992千円 (94,212千円)

6 外郭団体事務支援

No.	事業名	内容
1	十日町市共同募金委員会	地域福祉の推進のため、共同募金運動を行う団体。 【内容】各種会議、募金運動、助成審査、災害見舞
2	日本赤十字社十日町市地区	「いのちを救う」、「せいかつを支える」、「ひとを育む」を目的とした赤十字活動を地域へ普及するための団体。 【内容】各種会議、奉仕団助成、救急法講習、災害見舞
3	赤十字安全奉仕団十日町市分団	自己の技術を人々に奉仕し、あらゆる機会に人命の尊重と苦痛の軽減に寄与する団体。 【内容】各種会議、団員研修、各種講習会の実施
4	十日町市身体障害者団体連絡協議会	市内の身体障がい者福祉の推進を目的とした団体。 【内容】各種会議、地域交流、上部団体主催事業の参加
5	十日町市母子福祉いつ美会	市内の母子寡婦者福祉の推進を目的とした団体。 【内容】各種会議、交流会(6月・9月予定)、上部団体主催事業の参加
6	十日町市津南町連合遺族会	十日町市、津南町の戦没者遺族による団体。 【内容】各種会議、合同慰霊祭、上部団体主催事業の参加
7	十日町市遺族会	十日町地区の戦没者遺族による団体。 【内容】各種会議、上部団体主催事業の参加
8	十日町地区遺族会	十日町中央地区の戦没者遺族による団体。 【内容】各種会議、忠魂碑清掃、上部団体主催事業の参加
9	越後妻有防災ネットワーク協議会	防災・減災の普及活動、災害時の復旧を目的とした団体。 【内容】定例会(学習会)、イベントの開催(年1回)
10	だんだん会	民・官協働して、包括的にひきこもり支援を行う団体。 【内容】定例会、イベント(研修会)、情報誌作成
11	妻有地域包括ケア研究会	十日町市、津南町の社会福祉法人、行政が一体となって包括ケアシステムの構築を目指す団体。 【内容】各種会議、研修会、講演会の企画と開催
12	川西地区身体障害者互助会	川西地域の身体障がい者福祉の推進を目的とした団体。 【内容】各種会議、研修旅行、上部団体主催事業の参加
13	川西連合遺族会	川西地域の戦没者遺族による団体。 【内容】各種会議、上部団体主催事業の参加
14	川西地区ボランティア連絡協議会	川西地域ボランティア団体間の連携を目的とした団体。 【内容】各種会議、研修旅行、ポイント付与・管理
15	施設ボランティア「四葉の会」	デイサービスセンター「ファミリー川西」のボランティア。 【内容】各種会議、施設ボランティア(シーツ交換等)
16	スノーボランティア「夢雪隊」	要援護世帯の屋根の雪下ろしボランティア。 【内容】各種会議、屋根の雪下ろしボランティア

17	川西地区赤十字奉仕団	日常生活の中で地域に根ざした助け合い活動を行う団体。 【内容】各種会議、炊き出し訓練、障がい者余暇支援ボランティア、上部団体研修会の参加
18	中里身体障害者福祉団体協議会	中里地域の身体障がい者福祉の推進を目的とした団体。 【内容】各種会議、地域交流、上部団体主催事業の参加
19	中里地区遺族会	中里地域の戦没者遺族による団体。 【内容】各種会議、上部団体主催事業の参加
20	中里地区ボランティア友の会	中里地域ボランティア団体間の連携を目的とした団体。 【内容】各種会議、研修会
21	松代地域身体障がい者福祉会	松代地域の身体障がい者福祉の推進を目的とした団体。 【内容】各種会議、親睦旅行、上部団体主催事業の参加
22	松代地域遺族会	松代地域の戦没者遺族による団体。 【内容】各種会議、上部団体主催事業の参加
23	松代地域手をつなぐ育成会	松代地域の知的障がい者福祉の推進を目的とした団体。 【内容】各種会議、研修旅行、収益事業(そば販売)、上部団体主催事業の参加
24	松之山地区心身障害者福祉会	松之山地域の障がい者福祉の推進を目的とした団体。 【内容】各種会議、親睦旅行、上部団体主催事業の参加
25	松之山地区遺族会	松之山地域の戦没者遺族による団体。 【内容】各種会議、招魂祭・慰霊祭、上部団体主催事業の参加